

単位数	3単位	学科・学年・学級	土木造園科3年C組（造園コース）
準教科書	農業と環境（実教出版）	副教材等	

## 1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
- (2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	オリエンテーション 課題設定 年間学習計画	課題決定 計画書作成	課題としては、造園植栽、造園施工、フィールド等の調査・研究や作品製作、資格取得などがを理解する各自が興味・関心の高いテーマを設定し、年間学習計画を作成する。	行動観察
	5	実践活動	(例) 造園にまつわる調査・研究 (例) 作品製作	各自が主体性と計画性および責任ををもって学習活動を行う。 記録簿は毎回必ず記入する。	年間学習計画書
	6		(例) 資格取得 (例) 造園施工	実践活動では、写真やメモなどの記録を残し、プレゼンテーションおよび報告書作成に役立てる。	記録簿
	7				
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
	9	実践活動	調査・研究 作品製作 資格取得 造園施工	各自が主体性と計画性および責任ををもって学習活動を行う。 記録簿は毎回必ず記入する。  実践活動では、写真やメモなどの記録を残し、プレゼンテーションおよび報告書作成に役立てる。	行動観察  記録簿
	10	文化祭（西陵祭）発表・展示	展示準備	展示準備に取り組む。	発表・展示物

第2学期	11	文化祭（西陵祭）発表・展示	展示発表	これまでの活動内容を発表する。 実物を展示したりポスター発表を行う。	行動観察
	12	研究発表会	発表準備	発表会準備に取り組む。	記録簿 発表・展示物
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	実践記録のまとめ	報告書作成	報告書作成のために、ワープロソフトを活用し文書の編集や写真の取り込みなどを習得する。	行動観察
		研究発表会	報告書の提出 プレゼン発表	情報処理能力と表現力など総合的な能力の向上を目指して、報告書の作成を行う。 プレゼンテーションソフトを使い、できるだけわかりやすく発表する。	報告書

### 3 評価の観点

知識・技術	今まで学習して成果を基に、自主的に課題を設定し目的意識をもって行うことができ、丁寧に細かく調査することができる。また、安全に取り組むことができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>レポート作成や見学に必要な用具等を各自で判断して持参できている。</li> <li>研究時間の効率等に疑問を持ち、試行錯誤しながら完成を目指している。</li> <li>調査・研究する喜びの形としてレポートを作成している。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	自分が興味・関心を持ったことに対して、より探求心を持ち、継続的にコツコツと行うことの重要性を考えて主体的に取り組んでいる。

### 4 評価の方法

<p>評価の材料を用いて、3観点それぞれについてA・B・Cの評価を行う。学年末には、3観点のA・B・Cの組合せによって5段階の評定を行う。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の趣旨をよく理解した上で取り組み、提出締切日までに提出してください。</li> <li>造園の中でも維持管理や、施工の分野について深く学ぶことができる科目です。特に将来造園家を志望する場合は積極的に頑張ってください。</li> </ul>
--

単位数	2 単位	学科・学年・学級	土木造園科 3年C組 造園コース
教科書	造園施工管理	副教材等	

## 1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通し、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	作庭実習 庭園管理・改修	春季の庭園管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>マツのみどり摘み</li> <li>常緑樹の姿整剪定</li> <li>芝生管理</li> </ul>	適正に芽を摘めるか バランスを見ているか 樹形を意識して剪定をできるか 管理の方法を理解しているか
	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で正確に実習が行われるよう安全教育を徹底指導し、技術の習得に努める。</li> <li>樹木や芝などの管理方法を習得する。また、季節に応じた管理方法を理解する。</li> </ul>	授業態度 課題の完成度 安全作業 道具の使い方
	6	作庭実習 庭園管理・改修	夏季の庭園管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>ツツジ類の刈込</li> <li>生垣の刈込</li> <li>延段作成</li> <li>石材の加工</li> </ul>	どうしてこの時期かを理解している 仕立ての手順と方法 規格に合わせる適切な目地であるか 規格に合わせる適切な目地であるか
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で正確に実習が行われるよう安全教育を徹底指導し、技術の習得に努める。</li> <li>樹木や芝などの管理方法を習得する。また、季節に応じた管理方法を理解する。</li> <li>雨の日対応 造園施工管理試験対策（解説）</li> </ul>			安全作業 課題の完成度 課題の完成度 授業態度 口頭試問やプリント	
			期末考査	農業鑑定	
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	作庭実習 庭園管理・改修	夏季の庭園管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生管理</li> <li>カンツバキの枝抜き</li> <li>生垣の刈込</li> </ul>	授業態度 道具の使い方 枝透かしの程度 仕立ての手順と方法
	10		秋季の庭園管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>イヌマキの刈込</li> </ul>	段造りの完成度

第2学期					
	11			<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で正確に実習が行われるよう安全教育を徹底指導し、技術の習得に努める。</li> <li>樹木や芝などの管理方法を習得する。また、季節に応じた管理方法を理解する。</li> <li>サザンカの枝抜き</li> <li>マツのもみあげ</li> <li>カイツカイブキの剪定</li> </ul>	授業態度 道具の使い方 安全作業 課題の完成度
	12		期末考査 農業鑑定	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日対応 造園施工管理試験対策（解説）</li> </ul>	授業態度 口頭試問やプリント
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	作庭実習 庭園管理・改修	冬季の庭園管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>落葉樹の剪定</li> <li>マツのもみあげ</li> </ul>	授業態度 道具の使い方 安全作業 課題の完成度
	2		学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨の日対応 造園施工管理試験対策（解説）</li> </ul>	授業態度 口頭試問やプリント
	3				

### 3 評価の観点

知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理方法の要点や関連技術について理解し、その知識を身につけているか。</li> <li>管理の内容を客観的に把握したり、関連する技術情報を収集して活用したりしているか。</li> <li>各種工事の理解をもって、技術が身に付くよう基本を重点に行い、誤った作業に置いては、的確に注意しやり直しや手直しをすることができるか。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習内容を十分に把握し、的確な実習ができているか。</li> <li>疑問点、問題点に対する解決方法を考えることができるか。</li> <li>作業に必要な用具を各自で判断して出し入れすることができるか。</li> <li>作業工程において、作業効率等に疑問を持ち試行錯誤することができるか。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容に対して興味・関心があるか。</li> <li>自ら積極的に取り組んでいるか。</li> <li>疑問点、問題点などが生じたときにそれを解決しようと努力するか。</li> </ul>

### 4 評価の方法

評価の材料を用いて、3観点それぞれについてA・B・Cの評価を行う。学年末には、3観点のA・B・Cの組合せによって5段階の評価を行う。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

- 実習に集中し、解らないときは積極的に質問してください。
- 課題には、よく理解した上で取り組み、提出締切日までに提出してください。
- 造園の中でも基本的な維持管理や、施工の分野について深く学ぶことができる科目です。特に将来造園家を志望する場合は積極的に頑張ってください。

単位数	4 単位	学科・学年・学級	土木造園科 3年C組 造園コース
教科書	造園計画（実教出版）	副教材等	

## 1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、造園計画に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 造園計画について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 造園計画に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 造園計画について目的や環境に応じた造園空間の創造につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	公園・緑地の計画・設計	都市緑地の意義と機能	都市計画と緑地との関係、都市緑地が果たす役割や公園・緑地の計画・設計について学習し、都市緑地の計画・設計の技術を習得する。	課題提出物等、下書きの提出にて個々にチェックしていきアイデアを引き出ししていく。
			都市緑地の現状		
		地域計画と緑地	都市公園の発展と種類を知り街区公園の計画をする。		
	5	都市公園計画・設計			
		中間考査			
	6	造園製図	街区公園の設計・製図	都市公園の各種の規模を確認し、街区公園の必要性を知る。計画・設計の目的を明確にする（主体・対象・方法）	課題提出物等、下書きの提出にて個々にチェックしていきアイデアを引き出ししていく。
			施設の構成	様々な要因を考え、参考事例を基にベースとなる地割をデザインし下書きをする。チェックし手直しをしたものを製図用紙に正しく描く。	
	7		期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	造園製図	街区公園の設計・製図	個々に下書き案をチェックし構想とアイデアを引き出す。	文化祭展示を目標に完成させることにより図面評価とする。
			・透視図法	平面図より一点透視図を立ち上げる。正確性に心がける。チェック後、墨付けを行う。	
	10		・墨付け	仕上げ段階として丁寧に正確に墨付けと着色をする。（文化祭展示に向けて）	

第2学期			中間考査		
	11		街区公園の設計・製図 ・墨付け ・着色 文化祭準備	仕上げ段階として丁寧に正確に墨付けと着色をする。(文化祭展示に向けて)	授業の取り組みや提出物等の状況により評価する。
12		二点透視図法 ・墨付け ・着色	仕上げ段階として丁寧に正確に墨付けと着色をする。 街区公園設計図を基に二点透視図を立ち上げる。グリッド図法を用い正確性に心がける。チェック後、墨付けを行う。		
			期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	造園製図	二点透視図法	街区公園設計図を基に二点透視図を立ち上げる。グリッド図法を用い正確性に心がける。チェック後、墨付けを行う。	授業の取り組みや提出物等の状況により評価する。
			学年末の総月	仕上げ段階として丁寧に正確に墨付けと着色をする。	
			学年末考査		

### 3 評価の観点

知識・技術	難易な部分には、何度も繰り返し行い、公園設計の図面を作成できるか。 過去の優良図面を資料として見せ、個々がこのように描けるか。
思考・判断・表現	スケール感をもって、樹木の高や施設の大きさなどのイメージを出せるか。 自分だったらどのような公園を望むか。 公園の作成意図を表現できるか
主体的に学習に取り組む態度	基本をダラダラと進めず、仕上がっている図面を参考にさせとにかく描かせイメージを形として出す

### 4 評価の方法

<p>評価の材料を用いて、3観点それぞれについてA・B・Cの評価を行う。学年末には、3観点のA・B・Cの組合せによって5段階の評定を行う。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

基礎編(導入段階)時には、休んでほしくない。2時間続きで休んでしまうと、次の時間からかなりの遅れを生じ、難しさを感じてしまう。  
ICTを活用して身近にある造園について調べられるよう準備をしてください。

令和6年度 農業科 「造園施工管理」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	土木造園科 3学年 C組
教科書	造園施工管理（文部科学省）	副教材等	プリント等

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、造園施工管理に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 造園施工管理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

(2) 造園施工管理に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 造園施工管理について目的や環境に応じた合理的な施工と維持管理につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	「造園施工管理」の学習についての確認	造園土木施工 1 敷地の造成と土壌の改良 1)敷地の調査と造成計画 2)切土と盛土の施工方法 3)敷地の造成と植栽土壌 4)植栽基盤の改良	「造園施工管理」の学習の意義や内容、学習や評価の方法を再度確認させる。 ・切土と盛土の施工法、土壌改良や土量計算に関する知識と技術を習得させる。 ・敷地の調査や切土と盛土の施工方法、土壌や植生に対する対応について学習します。 ・表土保全の重要性や悪質土壌の改良など植物の生育に適した環境づくりの重要性を理解させる。	授業態度 口頭試問、課題 授業態度 演習プリント分析 演習プリント提出 小テスト 実習レポート提出
	5				
	6	②コンクリート工	2 コンクリート工 1)コンクリートの特性 2)コンクリートの配合 3)コンクリートの施工 4)鉄筋コンクリート工	・コンクリートの特性や配合割合について理解させる。 ・コンクリート構造物の施工に関する知識と技術を習得させる。  ・池泉，噴水，流れ等，水景施設工事などに必要な知識と技術を習得させる。	中間と期末の定期 考査の成績，課 題，プリントなど の提出課題・学習 意欲・態度などで 評価します。
7	③給排水工		学習の振り返り		
		中間考査 期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	④造園施設工	敷地の調査と造園計画  切り土と盛土の施工方法  敷地の造成と植栽土壌  植栽基盤の改良	・垣根，敷石など造園施設施工に関する知識と技術を習得させる。  ・樹木の整姿，せん定，施肥，病害虫防除，芝生の維持管理に関する知識と技術を習得させる。	行動観察 演習プリント分析 演習プリント提出 小テスト 実習レポート提出
	10	3植物及び工作物の管理 ①植物の管理 中間考査 ②工作物の管理 ③景観の管理	遠路・広場の種類  遠路の勾配	・各種造園工作物の点検，補修など維持管理に関する知識と技術を習得させる。	

		(4)品質管理	遠路の幅員	・景観としての「まとまり」の重要性を理解させる。	中間と期末の定期考査の成績，課題，プリントなどの提出課題・学習意欲・態度などで評価します。
	11	施設施工管理 ①遠路・広場工 ②水景施設工 ③庭園施設工	遠路・広場の階段 自転車道路 駐車場等 池泉工 石の施工 垣の施工等		
	12	期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	4合理的な施工と ①工程管理  学年末交差	施工管理の目的・方法 安全管理の目的・方法	・工程管理と品質管理の重要性を理解させる。	行動観察 演習プリント分析 演習プリント提出 小テスト 実習レポート提出  期末の定期考査の成績，課題，プリントなどの提出課題・学習意欲・態度などで評価します。

### 3 評価の観点

知識・技術	造園空間を設計・施工・管理するために必要な基礎的知識を身に着け、必要に応じて適切に生かすことができるように理解し、造園の基本的な技術を身につけている。
思考・判断・表現	造園空間を施工・管理するために必要な思考力、表現力があり必要に応じて適切に判断して実行に移す能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	造園空間を設計・施工・管理するために必要な基礎知識を主体的に身につけようとしている。

### 4 評価の方法

<p>評価の材料を用いて、3観点それぞれについてA・B・Cの評価を行う。学年末には、3観点のA・B・Cの組合せによって5段階の評定を行う。</p>
---

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題には、よく理解した上で取り組み、提出締切日までに提出してください。</li> <li>・造園の中でも維持管理や、施工の分野について深く学ぶことができる科目です。特に将来造園家を志望する場合は積極的に頑張ってください。</li> </ul>
---